

平成30年 9月28日
伊勢原市 第 号

伊勢原市協働事業完了報告書

伊勢原市長 殿

住 所 平塚市北金目4-1-1
団体名 東海大学文化社会学部
広報メディア学科水島研究室
代表者氏名 教授 水島 久光

平成30年 7月11日付けで協働事業採択決定通知を受けた事業が完了しましたので、伊勢原市市民協働事業提案制度実施要綱第14条の規定により、関係書類を添えて次のとおり報告します。

1 協働事業の成果

協働事業名	被爆者の会ドキュメンタリー映像を用いたワークショップ事業
事業費総額	27,000円
事業期間	自 平成30年 7月 11日 至 平成30年 9月 28日
実施場所	伊勢原市役所 3A会議室
参加者数	18人（中学生6人、戦争体験者3人、教員2名、大学生7人）
事業実施内容及びその成果	平成30年7月30日（月）14:00～15:30に実施。平成30年5月から7月にかけて収録した戦争体験者（被爆者の会）インタビューの映像と書き起こし原稿から、ディスカッション・ポイントを抽出し、大学生のファシリテーションのもと、中学生ヒロシマの旅の参加者と戦争体験者が語り合った。世代を超え、戦争体験を如何に伝承するかを考え、インタビュー映像の活用の可能性を検討する機会となった。

2 添付資料

- (1) 伊勢原市協働事業収支決算書（第8号様式）
- (2) 協働事業の実施に要した費用の領収書等の写し
- (3) その他市長が必要と認めるもの

第8号様式（第14条関係）

伊勢原市協働事業収支決算書

協働事業名	被爆者の会ドキュメンタリー映像を用いたワークショップ事業
団 体 名	東海大学文化社会学部広報メディア学科水島研究室

収入の部

区 分	決 算 額 (円)	内 訳 (数量、単価等)
水島研究室研究費	27,000	大学において配算された研究費
収入合計額	27,000	大学において配算された研究費

支出の部

区 分	決 算 額 (円)	内 訳 (数量、単価等)
素材映像制作費	27,000	ディレクション費
支出合計額	27,000	ディレクション費

被爆者の会ドキュメンタリー映像を用いたワークショップ事業
事業評価シート

段階	評価項目
準備段階	1. 協働が開始された段階はいつからか ☒ 企画の段階から ☐ 実施段階から ☐ その他 () 2. 協働の呼びかけはどちらからか ☒ 市民活動団体 ☐ 市 ☐ その他 () 3. 協働で行う意義は明確だったか ☒ はい ☐ いいえ 意義〔ドキュメンタリー映像の活用を行い、平和を希求する意識を深める。〕 4. 事業の目的は明確だったか ☒ はい ☐ いいえ 目的〔映像収録事業の成果を活用し、より多くの市民が戦争の問題を語る場を設け、将来に向けて恒久平和をめざすための平和意識の高揚を図る。〕 5. 事業の目標（何がどのような状態になることを意図しているか）は明確だったか ☒ はい ☐ いいえ 目標〔より多くの体験者と若い世代が体験を共有する。〕 6. 市民活動団体選定のプロセスは適切だったか ☒ はい ☐ いいえ 理由〔 〕 7. 相互理解は十分だったか ☒ はい ☐ いいえ 理由〔 〕
実施段階	8. 協定書作成にあたって十分協議したか ☒ はい ☐ いいえ 理由〔 〕 9. 事業運営上の役割分担は適切だったか ☒ はい ☐ いいえ 理由〔 〕 10. 進捗状況や情報を共有できたか ☒ はい ☐ いいえ 理由〔 〕 11. 実施プロセスの記録は残せたか ☒ はい ☐ いいえ 理由〔 〕 12. 互いの特性を活かすことができたか ☒ はい ☐ いいえ 理由〔 〕
終了後の段階	13. 事業内容の報告を作り、公開できたか ☒ はい ☐ いいえ 理由〔 〕 14. 目的・目標は達成できたか ☒ はい ☐ いいえ 理由〔 〕 15. 今後の課題と改善策を話し合ったか ☒ はい ☐ いいえ 理由〔 〕 16. 総合的に見て事業に対する満足度は 【 ☒ 5 4 3 2 1 】 理由〔 〕 17. その他、気づいた点